

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

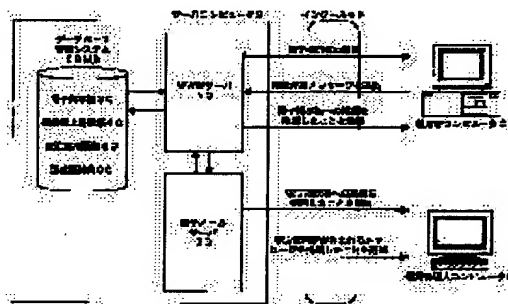
**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problems Mailbox.**

(11)Publication number : 11-259389
(43)Date of publication of application : 24.09.1999

(21)Application number : 10-058578 (71)Applicant : GAARA:KK
(22)Date of filing : 10.03.1998 (72)Inventor : KIKUKAWA AKIRA

(57)Abstract:

SOLUTION: Concerning the desired message, which is sent from a user computer C, to be presented on an electronic bulletin board 30, this message is checked while referring to a presentation inhibited word dictionary 40 registering previously selected words for which the presentation on the electronic bulletin board 30 is not suitable. When the desired message to be presented does not include any word in the presentation inhibited word dictionary 40, the message is registered on the electronic bulletin board 30. When this message includes any word in the presentation inhibited word dictionary 40, it is reported to the user computer C that this message can not be presented. The event of rejecting the presentation of the message is reported to an operation manager computer M.



[Date of request for examination]	11.03.1998
[Date of sending the examiner's decision of rejection]	
[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]	
[Date of final disposal for application]	
[Patent number]	2951307
[Date of registration]	09.07.1999
[Number of appeal against examiner's decision of rejection]	
[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]	
[Date of extinction of right]	

Copyright (C); 1998,2000 Japan Patent Office

整理番号 C0000083

発送番号 561413

発送日 平成13年12月 4日 1 / 2

拒絶理由通知書

特許出願の番号	特願2000-048645
起案日	平成13年11月21日
特許庁審査官	後藤 和茂 9463 5R00
特許出願人代理人	一色 健輔 (外 3名) 様
適用条文	第29条第2項

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出して下さい。

理 由

この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記の刊行物に記載された発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

請求項1～6について

引用例1～3

備考：

引用例1には、WWWサーバもしくは電子メールサーバを経由して、電子掲示板システムにメッセージを書き込む構成が記載されている。引用例1に記載の発明と本願の上記請求項に係る発明とを比較すると、本願の上記請求項に係る発明では、メッセージ本文に注目用語が含まれる場合に、対応付けされているURLをリンク先とするのに対し、引用例1にはそのような記載がない点で相違する。

前記相違点について検討する。引用例2、3には、文書の内容を解析することにより、必要に応じて対応するリンク情報を生成する構成が記載されている。引用例1～3はいずれもハイパーテキストを用いた情報処理に属する技術であるから、引用例1に記載の発明に、引用例2、3に記載の発明のリンク情報を生成する技術を適用して本願の上記請求項に係る発明とする点に、特段の技術的困難性は認められない。

引用文献等一覧

1. 特開平11-259389号公報
2. 特開平10-49425号公報
3. 特開平10-97541号公報

この拒絶理由通知書中で指摘した請求項以外の請求項に係る発明については、現時点では、拒絶の理由を発見しない。拒絶の理由が新たに発見された場合には拒絶の理由が通知される。

先行技術文献調査結果の記録

・調査した分野 IPC第7版 G06F13/00

この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではない。

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 電子掲示板システムであって、以下の各要件（１）～（６）を備える。

（１）ネットワークを通じて利用者コンピュータと通信するサーバコンピュータであって、電子掲示板機能により利用者コンピュータ間の情報交換を仲介する。

（２）利用者コンピュータからのリクエストに応答してメッセージ登録画面を送信する。

（３）掲載希望者がメッセージ登録画面に記入した情報を利用者コンピュータから取得する。

（４）メッセージ登録画面の記入情報のうち電子掲示板に掲載希望のメッセージについて、掲載禁止用語集に照らして検査を行う。掲載禁止用語集には、電子掲示板に掲載することは不適当であるとして事前に選出された用語が登録されている。

（５）掲載希望メッセージに掲載禁止用語集中の用語が含まれていない場合、当該メッセージを電子掲示板に登録する。

（６）掲載希望メッセージに掲載禁止用語集中の用語が含まれている場合、当該メッセージを発した利用者コンピュータに対してメッセージを掲載できない旨を通知する書状の画面データを送信するとともに、メッセージの掲載を拒否した事象を当該電子掲示板システムの運営管理人コンピュータに対して通知する。

【請求項 2】 請求項 1 に記載の電子掲示板システムであって、前記要件（６）における運営管理人コンピュータへの通知が、メッセージの掲載を拒否した旨を記載した電子メールを当該運営管理人の電子メールアドレスに向けて発信することにより行われる。

【請求項 3】 請求項 1 または請求項 2 のいずれかに記載の電子掲示板システムであって、つぎの（７）、

（８）の要件を備えることを特徴とする。

（７）メッセージ登録画面の記入情報のうち電子掲示板に掲載希望のメッセージについて、要注意用語集に照らして検査を行う。要注意用語集には、電子掲示板に掲載するものの、電子掲示板に掲載したことに対する社会の反応に注意する必要があるものとして事前に選出された用語が登録されている。

（８）掲載希望メッセージに要注意用語集中の用語が含まれている場合、当該電子掲示板システムの運営管理人コンピュータに対して要注意用語が含まれたメッセージを電子掲示板に掲載した旨を通知する。

【請求項 4】 請求項 3 に記載の電子掲示板システムであって、前記要件（８）における運営管理人コンピュータへの事象の通知が、要注意用語を含むメッセージを掲載したことが記載された電子メールを当該運営管理人の電子メールアドレスに向けて送信することにより行われる。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明はネットワーク上で運営される電子掲示板システムに関し、特に、電子掲示板に書き込まれるメッセージの内容を自動的に検査する情報処理技術に関する。

【0002】

【従来の技術】パソコン通信やインターネットの世界では、電子掲示板システムが盛んに利用されている。電子掲示板システムは、事業者によって管理されるサーバコンピュータによって運営され、サーバコンピュータは、ネットワークを通じて送られてくるメッセージをデータベースに蓄積管理し、また、接続してくる利用者コンピュータにデータベースの内容を提供する。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】ところで、現行の多くの電子掲示板システムでは、その内容を特に検査することなく、送られてくるメッセージをそのまま掲載してしまっている。そのため、他人を誹謗・中傷するようなメッセージや、電子掲示板システムの品位を低下せしめるような、電子掲示板に掲載されるのにふさわしくないメッセージが掲載されてしまうことも少なくない。最近では、社会問題にまで発展してしまうケースも増加しており、早急な対策が必要とされている。

【0004】本発明はこのような事情に鑑みてなされたものであって、利用者コンピュータから送られてくる電子掲示板への掲載希望メッセージの内容を自動的に検査する機能を有する電子掲示板システムを提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】この目的を達成するため、本発明の電子掲示板システムにあつては、次の各要件（１）～（６）を備えて構成される。

（１）ネットワークを通じて利用者コンピュータと通信するサーバコンピュータであって、電子掲示板機能により利用者コンピュータ間の情報交換を仲介する。

（２）利用者コンピュータからのリクエストに応答してメッセージ登録画面を送信する。

（３）掲載希望者がメッセージ登録画面に記入した情報を利用者コンピュータから取得する。

（４）メッセージ登録画面の記入情報のうち電子掲示板に掲載希望のメッセージについて、掲載禁止用語集に照らして検査を行う。掲載禁止用語集には、電子掲示板に掲載することは不適当であるとして事前に選出された用語が登録されている。

（５）掲載希望メッセージに掲載禁止用語集中の用語が含まれていない場合、当該メッセージを電子掲示板に登録する。

（６）掲載希望メッセージに掲載禁止用語集中の用語が含まれている場合、当該メッセージを発した利用者コンピュータに対してメッセージを掲載できない旨を通知する書状の画面データを送信するとともに、メッセージの

掲載を拒否した事象を当該電子掲示板システムの運営管理人コンピュータに対して通知する。

【0006】また、前記要件(6)において、運営管理人コンピュータへの通知が、メッセージの掲載を拒否した旨を記載した電子メールを当該運営管理人の電子メールアドレスに向けて発信することにより行われるようにし、また、以上のように構成される電子掲示板システムが、つぎの2つの要件、

(7) メッセージ登録画面の記入情報のうち電子掲示板に掲載希望のメッセージについて、要注意用語集に照らして検査を行う。要注意用語集には、電子掲示板に掲載するものの、電子掲示板に掲載したことに対する社会の反応に注意する必要があるものとして事前に選出された用語が登録されている。

(8) 掲載希望メッセージに要注意用語集中の用語が含まれている場合、当該電子掲示板システムの運営管理人コンピュータに対して要注意用語が含まれたメッセージを電子掲示板に掲載した旨を通知する。を備えることとする。

【0007】さらにまた、前記要件(8)において、運営管理人コンピュータへの事象の通知が、要注意用語を含むメッセージを掲載したことが記載された電子メールを当該運営管理人の電子メールアドレスに向けて送信することにより行われるようにする。

【0008】

【発明の実施の形態】 === 電子掲示板システムの構成と用語の説明 ===

この発明の一実施例による電子掲示板システムの構成を図1に示している。

【0009】<用語の説明> [サーバコンピュータS] …電子掲示板システム全体を統括管理するコンピュータである。インターネットに接続し、WWWサーバ10、電子メールサーバ20として機能する。

[利用者コンピュータC] …利用者によって操作される広域各地に散在するコンピュータであり、インターネットに接続する。利用者はメッセージの登録や閲覧を当該利用者コンピュータにより行う。

[運営管理人コンピュータM] …サーバコンピュータS上で稼動するソフトウェアのメンテナンスを行うコンピュータである。インターネットに接続し、運営管理人は自分の電子メールアドレス宛てに送られてきた電子メールをこの運営管理人コンピュータMで受け取る。

[電子掲示板30] …サーバコンピュータS上のデータベース管理システムDBMSによって管理されるデータベースであり、利用者から送られてくるメッセージが格納される。

【0010】[掲載禁止用語集40] …サーバコンピュータS上のデータベース管理システムDBMSによって管理されるデータベースであり、電子掲示板に掲載するのは不適当であるとして事前に運営管理人によって選出

された用語が登録されている。

【0011】[要注意用語集50] …サーバコンピュータS上のデータベース管理システムDBMSによって管理されるデータベースであり、電子掲示板30に掲載するものの、電子掲示板30に掲載したことに対する社会の反応に注意する必要があるものとして事前に運営管理人によって選出された用語が登録されている。

【0012】[類義語辞典60] …DBMSによって管理されるデータベースであり、掲載禁止用語集40および要注意用語集50のメンテナンス時に利用される。

【0013】[掲載希望メッセージ] …利用者が電子掲示板への掲載を希望するメッセージである。ここでいう掲載希望メッセージには、メッセージ本文、タイトル、ハンドルネーム(ペンネーム)等、電子掲示板に公開される全ての情報が含まれる。

【0014】===掲載希望メッセージの登録処理===

図2は、電子掲示板への掲載希望メッセージ登録処理の流れを示すフローチャートである。以下、このフローチャートに従って説明する。

【0015】<メッセージの送信>電子掲示板にメッセージを掲載したいと思う利用者は、まず利用者コンピュータをインターネットに接続し、掲載希望メッセージ登録画面のURL(UniformResource Locator)を送出する。両者が接続されるとサーバコンピュータSから利用者コンピュータCに掲載希望メッセージ登録画面が送達されてくる。この画面には、掲載希望メッセージ記入欄として「ハンドルネーム」、「タイトル」、「本文」の3つの記入欄が用意されている。また、記入欄の下には「書き込む」、「リセット」の2つのボタンがある。これらの記入欄に所定事項を記入して、「書き込む」のボタンをクリックすると、掲載希望メッセージ記入後の画面情報がサーバコンピュータS側に返送される(100)。

【0016】<掲載禁止用語集の照合による用語チェック>サーバコンピュータSは、返送されてきた画面情報から利用者によって記入された掲載希望メッセージを抽出し(110)、掲載希望メッセージに掲載禁止用語集40に登録されている用語が含まれているかどうかを調査する(120)。調査の結果、掲載禁止用語集40中の用語が含まれていた場合には、当該掲載希望メッセージを発した利用者コンピュータCに対し、メッセージを掲載できない旨が記載された画面(図3)を送信する(130)。また、同時に当該電子掲示板システムの運営管理人の電子メールアドレス宛てに、掲載希望メッセージの電子掲示板への掲載を拒否した旨が記載された電子メール(図4)を送信する(140)。

【0017】<要注意用語集の照合による用語チェック>一方、調査の結果、掲載希望メッセージに掲載禁止用語集40中の用語が含まれていなかった場合には、当該

掲載希望メッセージを電子掲示板 30 に登録する (150)。そしてさらに、サーバコンピュータ S は当該掲載希望メッセージに要注意用語集 50 に登録されている用語が含まれていないかどうかを調査する (160)。調査の結果、要注意用語集 50 中の用語が含まれていたことが判明した場合には、サーバコンピュータ S は、当該電子掲示板システムの運営管理人の電子メールアドレス宛てに、要注意用語が含まれていた掲載希望メッセージを電子掲示板に掲載したことを通知する電子メール (図 5) を送信する (170)。

【0018】===用語集のメンテナンス===
掲載禁止用語集 40 および要注意用語集 50 のメンテナンスは運営管理人コンピュータ M により行われる。以下は掲載禁止用語集 40 のメンテナンスについての説明する。本実施例においては、要注意用語集 50 および掲載禁止用語集 40 はそれぞれ全く同じ手順でメンテナンスされるので、要注意用語集 50 のメンテナンスについての説明は省略する。

【0019】<用語の登録>運営管理人コンピュータ M では、用語集のメンテナンスソフトウェアが稼動している。メンテナンスソフトウェアは運営管理人コンピュータ M のディスプレイにメニュー画面を表示して、運営管理人の操作指示を待つ。

【0020】運営管理人がメニュー画面にある「用語登録」ボタンをクリックすると、登録したい用語の記入欄が設けられた用語登録画面が表示される。運営管理者が、登録したい掲載禁止用語をこの用語記入欄に記入した後、この画面に設けられた「登録」ボタンをクリックすると、メンテナンスソフトウェアはこの用語が掲載禁止用語集 40 に既に登録済みであるかどうかを調べる。掲載禁止用語集 40 に登録が無ければ、メンテナンスソフトウェアはこの用語を掲載禁止用語集 40 に登録する。一方、この用語が掲載禁止用語集 40 に既に登録されていた場合には、「既に登録済みです」というメッセージをディスプレイに表示する。

【0021】つぎに、メンテナンスソフトウェアは、この用語に類似する言葉を類義語辞典 60 からピックアップして一覧形式にまとめた類義語一覧画面をディスプレイに表示する。画面上に並べられている各類義語の横には、各類義語ごとに「登録」ボタンが用意されている。運営管理者が、類義語一覧画面から登録したい類義語を選び、その類義語に対応する「登録」ボタンをクリックすると、その類義語が掲載禁止用語集 40 に登録される。この時、前述した用語の登録の場合と同様に当該類義語と同じ用語が掲載禁止用語集 40 に既に登録済みであるかどうかを調査され、掲載禁止用語集 40 に登録されていなければこの言葉を新たに掲載禁止用語集 40 に登録する。この類義語と同じ用語が既に掲載禁止用語集 40 に登録されていた場合には、「既に登録済みです」というメッセージをディスプレイに表示する。

【0022】<用語の削除>メニュー画面の「用語削除」ボタンをクリックすると、用語削除画面が表示される。この画面には、現在掲載禁止用語集 40 に登録されている用語の一覧が 50 音順に並べられて表示される。この時、画面の端に用意されているスクロールバーを操作すると画面がスクロールするので画面に表示しきれなかった部分も参照することができる。この画面の検索用語記入欄に適当な検索キーワードを記入すると、このキーワードに該当する用語を先頭に 50 音順に並べ直した用語一覧が表示される。ここで、各用語の横には各用語に対応する「削除」ボタンが設けられている。運営管理者が、削除したい用語に対応する「削除」ボタンをクリックすると、当該用語は掲載禁止用語集 40 から削除される。

【0023】===電子掲示板に掲載されたメッセージの閲覧===

電子掲示板を閲覧したいと思う利用者は、利用者コンピュータ C をインターネットに接続して電子掲示板閲覧画面の URL を送出する。両者が接続されると、サーバコンピュータ S から電子掲示板閲覧画面が送られてくる。利用者が、この画面に設けられている「タイトル一覧」ボタンをクリックすると、利用者コンピュータ C からサーバコンピュータ S に対してタイトル一覧画面を要求する命令が送出される。サーバコンピュータ S は、この命令を受けて電子掲示板 30 を参照し、新しいものから順番に並べたメッセージタイトルの一覧が掲載されたタイトル一覧画面を、利用者コンピュータ C に返信する。利用者が、送られてきたタイトル一覧画面におけるあるタイトルをクリックすると、利用者コンピュータ C からサーバコンピュータ S に対してメッセージ本文画面を要求する命令が送出される。この命令を受けてサーバコンピュータ S は、利用者コンピュータ C に対して、そのタイトルに対応するメッセージが記載されたメッセージ本文画面を返信する。

【0024】メッセージ本文画面の上部には、「前の記事」、「次の記事」の 2 つのボタンが設けられている。利用者はこれらのボタンをクリックすることにより、電子掲示板 30 に登録されているメッセージを登録された時系列順に巡回閲覧することができる。メッセージ本文画面の下部には「リブライ」ボタンおよび「削除」ボタンが設けられている。利用者が「リブライ」ボタンをクリックすると、サーバコンピュータ S からこのメッセージに対する返信メッセージを登録する画面が送られてくる。利用者はこの画面に前述した掲載希望メッセージを登録する場合と同じ要領により返信メッセージを登録することができる。

【0025】一方、利用者が「削除」ボタンをクリックすると当該メッセージを登録した本人であることを確認するためのパスワード認証画面がサーバコンピュータ S から送られてくる。利用者は、あらかじめ通知されてい

る正規なパスワードを記入し、この画面をサーバコンピュータSに送出する。サーバコンピュータSは、パスワード認証画面が利用者コンピュータCから送られてくると、パスワードが正規なものであるかどうかを検証する。正規なパスワードであることを確認した場合には、電子掲示板30から当該メッセージを削除する。

【0026】===その他の応用===

<データベースの構成>電子掲示板30、掲載禁止用語集40、要注意用語集50、類義語辞典60などのデータベースは、それぞれ独立して稼動するデータベース管理システムにより管理される構成であってもよいし、前述した実施例のように、これら全てのデータベースが一つのデータベース管理システムによって管理される構成であってもよい。

【0027】<サーバコンピュータS、運営管理人コンピュータMの構成>サーバコンピュータSおよび運営管理人コンピュータMはそれぞれ独立した単体のコンピュータである必要はなく、LANなどで接続された複数台のコンピュータによって構成されるものであってもよい。この場合にはシステム全体のパフォーマンスやコストなどを考慮した最適な状態にデータベースやデータベース管理システム等を配置するとよい。

【0028】<電子メール以外による通知>前述した実施例においては、掲載希望メッセージに掲載禁止用語が含まれていて電子掲示板への掲載を拒否したことや、要注意用語が用いられているメッセージを電子掲示板に掲載したことなどの事象を運営管理人に対して通知するのに電子メールを用いたが、運営管理人コンピュータ上で所定の管理ソフトウェアを稼動させてLAN経由でサーバコンピュータと通信し、掲載を拒否した旨などの情報が運営管理人コンピュータのディスプレイに次々に表示するというものであってもよい。

【0029】<インターネット以外のネットワーク形態>前述した電子掲示板システムは、インターネット上で稼動するものであるが、本発明は、パソコン通信のような他のネットワーク形態において稼動する電子掲示板システムにも適用することができる。本発明の適用可否は、ネットワーク形態の種類によって左右されない。

【0030】<類義語辞典の活用方法>前述した実施例のように、用語の登録時に類義語を調べて掲載禁止用語集40や要注意用語集50に類義語を登録してしまうのではなく、掲載希望メッセージの内容を検査する際に掲載禁止用語集40や要注意用語集50に登録されている用語の類義語を調べるようにしてもよい。このようにすれば、用語集に類義語を登録する作業が必要ない上、掲載禁止用語集40や要注意用語集50のためのデータベースの記憶領域も節約される。

【0031】

【発明の効果】本発明による電子掲示板システムによれば、掲載するのは不適当であると思われる用語が掲載希望メッセージに含まれているかどうか自動的に検査され、他人を誹謗・中傷するようなメッセージや電子掲示板システムの品位を低下せしめるようなメッセージが電子掲示板に掲載されてしまうのを未然に防ぐことができる。

【0032】また、掲載希望メッセージを電子掲示板に掲載しなかった場合には、運営管理人に対してメッセージの掲載を拒否した事象が電子メールにより通知される。これにより、運営管理人は電子メールを確認するだけで電子掲示板システムが行った処理を逐一把握することができる。

【0033】また、要注意用語が含まれていた掲載希望メッセージを電子掲示板に掲載した旨が運営管理人に電子メールで通知される。運営管理人は、この通知を電子掲示板システムにおける要注意用語についての今後の取り扱いを決定するための有効な判断材料として活用することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例における電子掲示板システムの概略構成を示す図である。

【図2】本発明の一実施例における掲載希望メッセージの登録処理の流れを示すフローチャートである。

【図3】本発明の一実施例において、掲載希望メッセージの掲載を拒否した場合に利用者コンピュータに送信される画面の一例を示す図である。

【図4】本発明の一実施例において、運営管理人宛てに送信される、掲載希望メッセージの掲載を拒否した旨を通知する電子メールの一例を示す図である。

【図5】本発明の一実施例において、運営管理人宛てに送信される、掲載希望メッセージに要注意用語が含まれていたことを通知する電子メールの一例を示す図である。

【符号の説明】

S サーバコンピュータ

C 利用者コンピュータ

M 運営管理人コンピュータ

DBMS データベース管理システム

10 WWWサーバ

20 電子メールサーバ

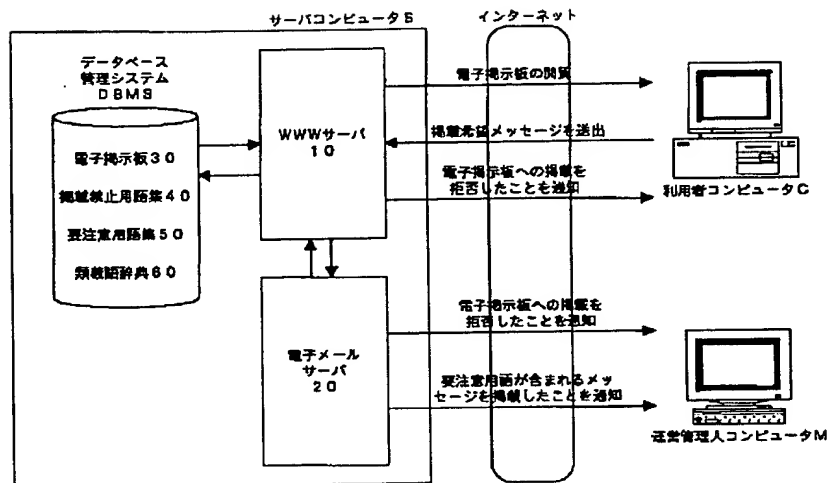
30 電子掲示板

40 掲載禁止用語集

50 要注意用語集

60 類義語辞典

【図1】



【図3】

掲載を希望されたメッセージには電子掲示板への掲載に不適当であると思われる下記の用語が含まれているため登録が拒否されました。

登録拒否の理由となった用語

○○○○○○○○
△△△△△△

【図4】

運用管理客殿

◎時◎分に利用者XXXX (E-mail: xxx@yyy.co.jp) から送られてきた掲載希望メッセージには下記の掲載禁止用語が含まれていたため、電子掲示板への掲載を拒否しました。

電子掲示板システム

メッセージに含まれていた掲載禁止用語

○○○○○○○○
△△△△△△

【図5】

運用管理者殿

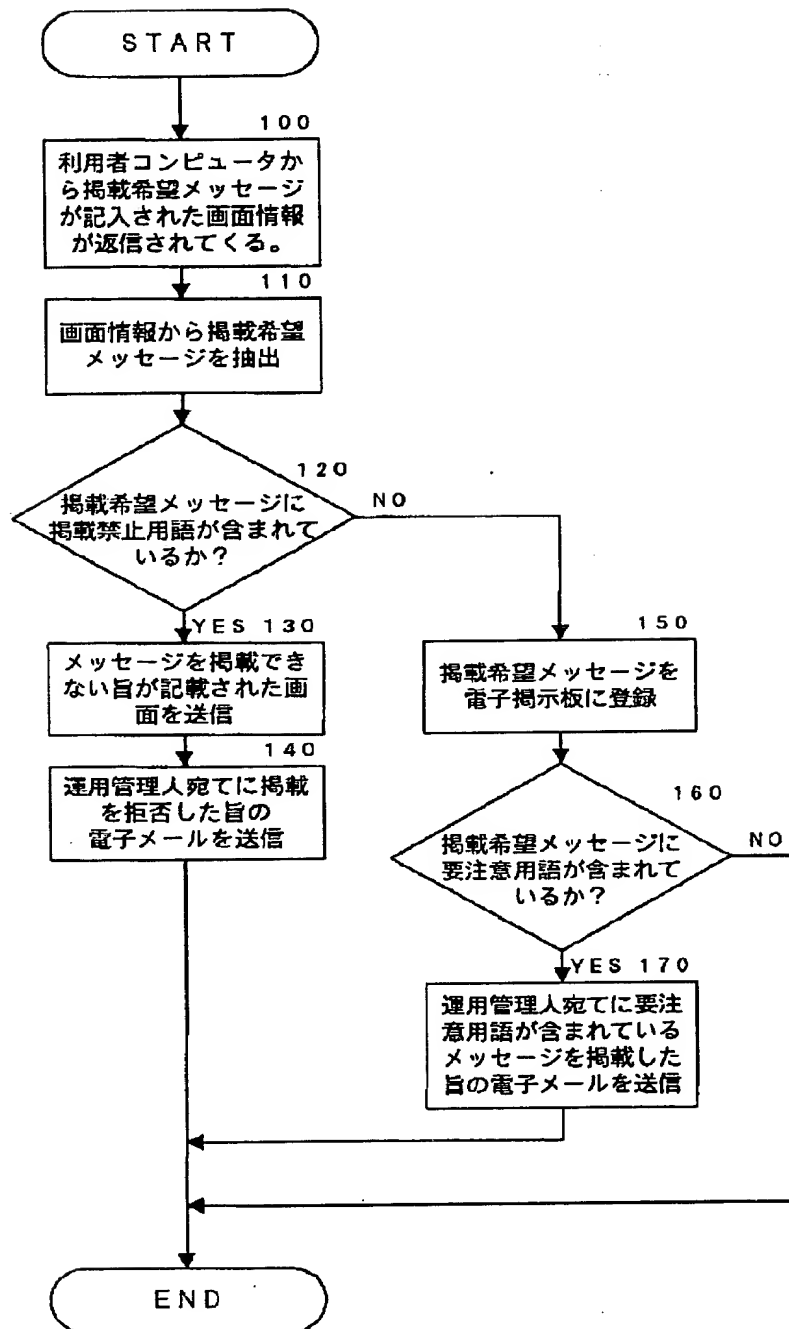
◎時◎分に利用者XXXX (E-mail: xxx@yyy.co.jp) から送られてきた掲載希望メッセージには下記の要注意用語が含まれていました。

電子掲示板システム

メッセージに含まれていた要注意用語

◇◇◇◇◇◇◇◇

【図2】



【手続補正書】

【提出日】平成11年2月1日

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 電子掲示板システムであって、以下の各要件（1）～（9）を備える。

（1）ネットワークを通じて利用者コンピュータと通信するサーバコンピュータであって、電子掲示板機能により利用者コンピュータ間の情報交換を仲介する。

（2）利用者コンピュータからのリクエストに回答してメッセージ登録画面を送信する。

（3）掲載希望者がメッセージ登録画面に記入した情報を利用者コンピュータから取得する。

（4）メッセージ登録画面の記入情報のうち電子掲示板に掲載希望のメッセージについて、掲載禁止用語集および要注意用語集に照らして検査を行う。

（5）掲載禁止用語集には、電子掲示板に掲載することは不適当であるとして事前に選出された用語が登録されている。

（6）要注意用語集には、電子掲示板に掲載するものの、電子掲示板に掲載したことに対する社会の反応に注意する必要があるものとして事前に選出された用語が登録されている。

（7）掲載希望メッセージに掲載禁止用語集中の用語が含まれていない場合、当該メッセージを電子掲示板に登録する。

（8）掲載希望メッセージに要注意用語集中の用語が含まれている場合、要注意用語が含まれたメッセージを電子掲示板に掲載した事象を当該電子掲示板システムの運営管理人コンピュータに対して通知する。

（9）掲載希望メッセージに掲載禁止用語集中の用語が含まれている場合、当該メッセージを発した利用者コンピュータに対してメッセージを掲載できない旨を通知する書状の画面データを送信するとともに、メッセージの掲載を拒否した事象を当該電子掲示板システムの運営管理人コンピュータに対して通知する。

【請求項2】 請求項1に記載の電子掲示板システムであって、前記要件（8）（9）における運営管理人コンピュータに対する通知が、それぞれの事象を伝える内容の電子メールを当該運営管理人の電子メールアドレスに向けて発信することにより行われる。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正内容】

【0005】この目的を達成するためになされた本発明の電子掲示板システムは、つぎの事項（1）～（9）により特定されるものである。

（1）ネットワークを通じて利用者コンピュータと通信するサーバコンピュータであって、電子掲示板機能により利用者コンピュータ間の情報交換を仲介する。

（2）利用者コンピュータからのリクエストに回答してメッセージ登録画面を送信する。

（3）掲載希望者がメッセージ登録画面に記入した情報を利用者コンピュータから取得する。

（4）メッセージ登録画面の記入情報のうち電子掲示板に掲載希望のメッセージについて、掲載禁止用語集および要注意用語集に照らして検査を行う。

（5）掲載禁止用語集には、電子掲示板に掲載することは不適当であるとして事前に選出された用語が登録されている。

（6）要注意用語集には、電子掲示板に掲載するものの、電子掲示板に掲載したことに対する社会の反応に注意する必要があるものとして事前に選出された用語が登録されている。

（7）掲載希望メッセージに掲載禁止用語集中の用語が含まれていない場合、当該メッセージを電子掲示板に登録する。

（8）掲載希望メッセージに要注意用語集中の用語が含まれている場合、要注意用語が含まれたメッセージを電子掲示板に掲載した事象を当該電子掲示板システムの運営管理人コンピュータに対して通知する。

（9）掲載希望メッセージに掲載禁止用語集中の用語が含まれている場合、当該メッセージを発した利用者コンピュータに対してメッセージを掲載できない旨を通知する書状の画面データを送信するとともに、メッセージの掲載を拒否した事象を当該電子掲示板システムの運営管理人コンピュータに対して通知する。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正内容】

【0006】また本発明の実用的で典型的な実施形態では、前記発明特定事項（8）（9）における運営管理人コンピュータに対する通知が、それぞれの事象を伝える内容の電子メールを当該運営管理人の電子メールアドレスに向けて発信することにより行われる構成とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】削除

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正内容】

【0018】====用語集のメンテナンス====
掲載禁止用語集40および要注意用語集50のメンテナンスは運営管理人コンピュータMにより行われる。以下は掲載禁止用語集40のメンテナンスについて説明する。本実施例においては、要注意用語集50および掲載禁止用語集40はそれぞれ全く同じ手順でメンテナンスされるので、要注意用語集50のメンテナンスについての説明は省略する。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【手続補正書】

【提出日】平成11年6月2日

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 ネットワークを通じて利用者コンピュータと通信するサーバコンピュータにより構成され、利用者コンピュータからのリクエストに回答してメッセージ登録画面を送信する手段と、利用者コンピュータにおいて前記メッセージ登録画面に記入された情報を取得して電子掲示板に適宜に掲載する手段と、この電子掲示板に掲載された情報を利用者コンピュータに閲覧させる手段とを備えた電子掲示板システムにおいて、
電子掲示板に掲載することは不相当であるとして事前に選出された用語をデータベース化した掲載禁止用語集と、
電子掲示板に掲載したことに対する社会の反応に注意する必要があるものとして事前に選出された用語をデータベース化した要注意用語集と、
前記メッセージ登録画面の記人情報のうち電子掲示板に掲載希望のメッセージについて前記掲載禁止用語集および前記要注意用語集に照して検査を行う手段と、
前記掲載希望メッセージに前記掲載禁止用語集中の用語が含まれていない場合に当該メッセージを電子掲示板に掲載する手段と、
前記掲載希望メッセージに前記要注意用語集中の用語が含まれている場合、要注意用語が含まれたメッセージを電子掲示板に掲載した事象を当該電子掲示板システムの運営管理人コンピュータに対して通知する手段と、
前記掲載希望メッセージに前記掲載禁止用語集中の用語が含まれている場合、当該メッセージを発した利用者コンピュータに対してメッセージを掲載できない旨を通知

【補正対象項目名】0028

【補正方法】変更

【補正内容】

【0028】<電子メール以外による通知>前述した実施例においては、掲載希望メッセージに掲載禁止用語が含まれていて電子掲示板への掲載を拒否したことや、要注意用語が用いられているメッセージを電子掲示板に掲載したことなどの事象を運営管理人に対して通知するのに電子メールを用いたが、運営管理人コンピュータ上で所定の管理ソフトウェアを稼働させてLAN経由でサーバコンピュータと通信し、掲載を拒否した旨などの情報が運営管理人コンピュータのディスプレイに次々に表示されるというものであってもよい。

する書状の画面データを送信するとともに、メッセージの掲載を拒否した事象を当該電子掲示板システムの運営管理人コンピュータに対して通知する手段と、
を備えたことを特徴とする電子掲示板システム。

【請求項2】 前記運営管理人コンピュータに対する前記通知がそれぞれの事象を伝える内容の電子メールを前記運営管理人コンピュータの電子メールアドレスに向けて発信することにより行われることを特徴とする請求項1に記載の電子掲示板システム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正内容】

【0005】この目的を達成するためになされた本発明は、ネットワークを通じて利用者コンピュータと通信するサーバコンピュータにより構成され、利用者コンピュータからのリクエストに回答してメッセージ登録画面を送信する手段と、利用者コンピュータにおいて前記メッセージ登録画面に記入された情報を取得して電子掲示板に適宜に掲載する手段と、この電子掲示板に掲載された情報を利用者コンピュータに閲覧させる手段とを備えた電子掲示板システムにおいて、電子掲示板に掲載することは不相当であるとして事前に選出された用語をデータベース化した掲載禁止用語集と、電子掲示板に掲載したことに対する社会の反応に注意する必要があるものとして事前に選出された用語をデータベース化した要注意用語集と、前記メッセージ登録画面の記人情報のうち電子掲示板に掲載希望のメッセージについて前記掲載禁止用語集および前記要注意用語集に照して検査を行う手段と、前記掲載希望メッセージに前記掲載禁止用語集中の用語が含まれていない場合に当該メッセージを電子掲示板に掲載する手段と、前記掲載希望メッセージに前記要注意用語集中の用語が含まれている場合、要注意用語が

含まれたメッセージを電子掲示板に掲載した事象を当該電子掲示板システムの運営管理人コンピュータに対して通知する手段と、前記掲載希望メッセージに前記掲載禁止用語集中の用語が含まれている場合、当該メッセージを発した利用者コンピュータに対してメッセージを掲載できない旨を通知する書状の画面データを送信するとともに、メッセージの掲載を拒否した事象を当該電子掲示板システムの運営管理人コンピュータに対して通知する手段とを備えたことを特徴とするものである。つまり、この発明の電子掲示板システムは、つぎの技術事項

(1)～(9)を備えたものである。

(1) ネットワークを通じて利用者コンピュータと通信するサーバコンピュータであって、電子掲示板機能により利用者コンピュータ間の情報交換を仲介する。

(2) 利用者コンピュータからのリクエストに回答してメッセージ登録画面を送信する。

(3) 掲載希望者がメッセージ登録画面に記入した情報を利用者コンピュータから取得する。

(4) メッセージ登録画面の記入情報のうち電子掲示板に掲載希望のメッセージについて、掲載禁止用語集および要注意用語集に照らして検査を行う。

(5) 掲載禁止用語集には、電子掲示板に掲載することは不相当であるとして事前に選出された用語が登録されている。

(6) 要注意用語集には、電子掲示板に掲載するものの、電子掲示板に掲載したことに対する社会の反応に注意する必要があるものとして事前に選出された用語が登録されている。

(7) 掲載希望メッセージに掲載禁止用語集中の用語が含まれていない場合、当該メッセージを電子掲示板に登録する。

(8) 掲載希望メッセージに要注意用語集中の用語が含まれている場合、要注意用語が含まれたメッセージを電子掲示板に掲載した事象を当該電子掲示板システムの運営管理人コンピュータに対して通知する。

(9) 掲載希望メッセージに掲載禁止用語集中の用語が含まれている場合、当該メッセージを発した利用者コンピュータに対してメッセージを掲載できない旨を通知する書状の画面データを送信するとともに、メッセージの掲載を拒否した事象を当該電子掲示板システムの運営管理人コンピュータに対して通知する。